

様式A-52-2

令和2(2020)年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(研究成果公開促進費)交付申請書

独立行政法人

日本学術振興会理事長 殿

令和 年 月 日

代表者連絡先	〒 機関番号()
フリガナ	<small>※研究機関に所属し機関管理となる者は、所属機関の所在地及び機関・部局・職名を記入</small>
代表者名	印

下記刊行物の刊行事業について、別紙見積書(様式A-53-2・A-53-3・A-53-4)を添えて科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(研究成果公開促進費)「**学術図書**」の交付を申請します。

課題番号	補助金(交付予定)額 円	刊行物の 名称
刊行の目的・内容		
著者・著作権者の全員の氏名(著者と著作権者が異なる場合は、著者と著作権者の区別をつけて記入してください。)		
(全員で 人)		
編者全員の氏名		
(全員で 人)		

< 刊行経費 > (紙媒体のみで刊行する場合又は紙媒体と電子媒体双方で刊行する場合)

発行部数			定価(税込) (D)	卸売価格 (税込)	1部当たりの原価 (A)/(C)	直接出版費(税込) (A)
市販用	その他	計(C)				
部	部	部	円	円	円	円

ページ数	頁
------	---

刊行補助限度額(E) <small>直接出版費(A)-(定価(D))×0.7×0.5×(発行部数(C)×0.6)</small>	円
--	---

※(E)=令和2(2020)年度に刊行のみ行う場合の補助限度額

出版社等への原稿渡し日	発行予定年月日
令和 年 月 日	令和 年 月 日

出版社等名	
-------	--

< 刊行経費 > (電子媒体のみで刊行する場合)

直接出版費(税込) (A)
円

刊行補助限度額(E) <small>直接出版費(A)×0.8</small>	円
--	---

※(E)=令和2(2020)に刊行のみ行う場合の補助限度額

出版社等への原稿渡し日	発行予定年月日
令和 年 月 日	令和 年 月 日

出版社等名	
-------	--

< 翻訳・校閲経費 >

翻訳対象和文 図書・論文名		和文400字詰 原稿用紙換算枚数	枚
翻訳後の原稿予定枚数(200ワード詰)	枚	校閲原稿予定枚数(200ワード詰)	枚

翻訳・校閲経費		
翻訳経費	校閲経費	計(B)
円	円	円

翻訳・校閲及び 刊行補助限度額 (B)+(E)
円

翻訳・校閲期間開始日	翻訳・校閲期間完了日
令和 年 月 日	令和 年 月 日

(B)=令和2(2020)年度に翻訳・校閲のみ行う場合の補助限度額

(B)+(E)=令和2(2020)年度に翻訳・校閲から刊行まで行う場合の補助限度額

翻訳者		校閲者	
-----	--	-----	--

* 以下、応募時に提出した計画調書から変更があった場合は、変更しようとする項目についてのみ、変更後の内容を記入するとともに、変更する必要が生じた理由を「変更理由」欄に記入し、交付申請書に添付して提出すること。変更が無い場合は作成及び提出不要。

なお、(4)「発行部数(C)」、(5)「定価(D)」又は(8)「直接出版費(A)」を変更する場合は、必ず「刊行補助限度額(E)」も記入すること。

<課題情報>

(1) 刊行物の名称			
(2) 著者・著作権者	(全員で 人)	(3) 編者	(全員で 人)

<刊行経費>

(4) 発行部数			(5) 定価(税込) (D)	(6) 卸売価格 (税込)	(7) 1部当たりの原価 (A)/(C)	(8) 直接出版費(税込) (A)
市販用	その他	計(C)				
部	部	部	円	円	円	円

(9) ページ数	頁
-------------	---

刊行補助限度額(E) <small>* 上記(A)、(C)又は(D)に変更があった場合に記入</small>	円
--	---

(10) 出版社等への原稿渡し日	(11) 発行予定年月日
令和 年 月 日	令和 年 月 日

<翻訳・校閲経費>

(12) 翻訳後の原稿予定枚数(200ワード'詰)	枚	(13) 校閲原稿予定枚数(200ワード'詰)	枚
------------------------------	---	----------------------------	---

(14) 翻訳・校閲経費		
翻訳経費	校閲経費	計(B)
円	円	円

翻訳・校閲及び 刊行補助限度額 (B)+(E)
円

(15) 翻訳・校閲期間開始日	(16) 翻訳・校閲期間完了日
令和 年 月 日	令和 年 月 日

変更理由	
(応募時の計画から変更しようとする項目及び変更が必要となった理由を具体的に記入すること)	